

平和学習の旅 中国 2014

万人坑を知る旅⑥

～ 海南島の万人坑 ～

万人坑とは、鉱山や大規模な工事現場で中国人労働者に苛酷な労働を強要した結果、栄養失調やケガ、病気等で使いものにならなくなると、時には生きながらも捨てた「ヒト捨て場」。

そうした死亡者が大規模に埋葬された場所。

* 八所港劳工纪念碑
(海南省東方市)

撮影：李秉剛

■ 期間：2014年 11月12日(水)～
11月17日(月) 5泊6日

■ 料金：288,000円(関西空港発着 2名1室利用)

*9名以上参加の場合：249,000円

*一人部屋追加料金：30,000円 *9名以上参加の場合：29,000円

■ 募集人員：11名様 限定(最少催行：6名様)

■ 申込み締切日：10月 5日(日)

■ 企画・コーディネート：野津 加代子 *ツアーに同行いたします。

～unique tours of peace & people～ HAPPY-SCREAMING PROJECT

■ 旅行企画・実施：株式会社 みずほトラベルサービス

〒651-1143 神戸市北区若葉台 4-1-10 北鈴蘭台駅前ビル 1F

電話：078-597-2800 ファックス：06-6324-2439

■ 同行解説：李秉剛さん(中共遼寧省委党校
元教授、『万人坑を知る一日本が中国を侵略した史跡』著者)

1948年生まれ。1975年遼寧大学歴史学部卒。1980年『東北抗日連軍闘争史』の編集に参加。以来、東北地方史の研究に没頭。中国社会科学院中日歴史研究センターで「日本の中国東北地方労働者酷使の調査」の課題を主宰。「中国の第二次世界大戦中の労働者」のホームページを主宰。主著：「日本による中国侵略期間中の遼寧省の万人坑調査」「遼寧人民抗日闘争史」近著(編者)に『私は地獄へ行ってきたー中国東北部、旧日本軍占領地区の生存劳工の記憶』(2009/9)がある。



現在では中国のハワイと呼ばれる美しい海に囲まれた海南島も日本侵略戦争時には中国内地同様、島の南西部にあった埋蔵量の多い良質な鉱山や港の工事での強制労働の末、万人坑が形成された事実があります。南方の島という立地から、鉱山では中国華南方面、香港、マカオ、台湾、インドネシア、インドなどから連行された人々や海南島各地から強制的に徴用された農民が働かされ、港の工事では東南アジアで捕らえた英国やカナダの捕虜を建設に従事させるなど中国人以外にも様々なルートで海南島へ連行された人々がいたようです。侵略戦争末期には朝鮮から「南方派遣報国隊」の名で海南島へ強制連行、労働させられ、多くの人命が奪われました。その現場であった「朝鮮村」や旧日本軍による住民虐殺の跡なども慰霊、参観予定です。また、海南島も戦時性暴力の被害を免れず被害証言が報告されています。過去に聞き取り調査や取材に応え、証言された方で現在も当時の様子や今の想いを語って下さる方がおられましたら、今回の旅で是非、証言をお聴きしたいと願っています。是非、ご参加ください。